

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

- 研究の対象期間と対象となる患者様

2018年4月1日以降に当院で下記疾患の外来・入院来院をされた方

- 研究課題名

BCR::ABL 融合遺伝子陰性 骨髄増殖性疾患患者の予後についての 後方視的背景因子解析

- 当院の研究責任者(所属)

血液内科部 布村拓也

- 共同研究機関の研究責任者(所属)

なし

- 本研究の目的・方法・研究実施期間

BCR::ABL 融合遺伝子陰性 骨髄増殖性疾患は、原発性骨髄線維症・真性多血症・本態性血小板血症慢性好中球性白血病・慢性好酸球性白血病・若年性骨髄単球性白血病他の分類に該当しない骨髄増殖性疾患(MPN, NOS)からなる疾患の総称です。近年、これらの疾患に対する理解が進み、治療成績は改善しております。しかし、数年で進行する場合から10年以上進行せず経過する場合などその臨床経過は様々です。同疾患は稀な疾患であり、患者さんがどのような転帰を辿るかについてのデータは不足しています。そのため、疾患に対する治療・管理の最適化の余地があります。

当院において2018年度以降にBCR::ABL 融合遺伝子陰性 骨髄増殖性疾患で当科を受診された患者さんについて後方視的検討を行い、電子カルテに記載のある診療記録、検査データなどを利用し、さらなる治療・管理方法の改善に役立てます。

患者さんの情報は、完全に匿名化され個人が特定されない電子ファイルで管理されます。

研究実施期間：当院理倫理審査委員会による許可日～2028年3月31日

- 研究に用いる試料・情報の項目

<情報>

年齢、性別、身長、体重、病歴、検査データ、診療録、副作用等の発生状況、画像所見、化学療法実施経過、併用薬剤詳細、有害事象発現時期、死亡時期、最終生存確認時期、病勢進行期、致命的イベント発生率、出血イベント発生率、出血イベント発生率等のカルテデータ